

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372201943		
法人名	株式会社アバンセラライフサポート		
事業所名	アバンセグループホームこころ(1階)		
所在地	愛知県一宮市北方町曾根字村東373-1		
自己評価作成日	平成22年2月11日	評価結果市町村受理日	平成22年5月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.aichi-fukushi.or.jp/kaigokouhyou/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』
所在地	愛知県名古屋市中村区松原町一丁目24番地 S101号室
訪問調査日	平成22年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が住み慣れた地域で充実した日々が送れるよう毎月の外食、喫茶店、外出、買い物、行事等戸外へ出かける支援をしています。安心、安全の為にスプリンクラーを設置しました。献立も利用者の希望により柔軟に対応変更をしています。個人の尊厳を大切に利用者が主役職員は脇役に徹する為に毎月のフローミーティング、リーダーミーティングにて問題点や介護、介護ケアについて話し合い実践しています。理念である「ここは私の家」と思ってもらえるよう全職員が取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

玄関ホールは吹き抜けで明るく、共用スペースや居室も広く日光が取り入れられる造りになっており、「ここは私の家」と感じられる明るい雰囲気づくりにも自然の影響がみられた。日常生活でも、利用者が笑顔で快適な生活ができるホーム作りを目指しており、職員が互いに協力し合いながら自然な笑顔が溢れている。ホールに展示されているクリスマスイベント写真では、サンタ姿の他にも変わったコスチュームで着飾った職員が利用者を囲み、ほほえむ様子が窺えた。職員の努力が印象的で、ほのぼのとした雰囲気が感じらるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念として5つの項目を掲げ事務所と玄関に掲示してある。「ここは私の家」と言ってもらえるよう全職員で取り組み、内部研修で理念の見直しをすることで地域密着サービスの理念を検討している。	6年前に制定した理念の見直しを始めた。地域密着型にふさわしい新理念の制定と実現へのスピードアップも狙って、職員アンケート方式を採用し、「ここは、私の家」に相応しいホーム作りを目指し検討されている。	全職員によるアンケート手法で、新理念を制定される過程を評価したい。職員との共同作業で理念作りができれば、すばらしいこととして期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、買い物や外食等に地域のスーパーやお店を利用することで新しい関係づくりを築いている。駐車場の提供や散歩の際、日常的挨拶から始まり、近所の方からは、野菜を頂いたり野菜づくりを指導して頂いている。	ホームは、他の地域から参入した経緯があるので、町内会の回覧板や広報で情報を得る努力をし、総会等の町内会行事や老人会主催の敬老会や小学校でのイベントにも積極的に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談受付中の看板を設置したことで、電話での相談や問い合わせがある。認知症の方へ理解や支援の方法を地域の方に知っていただく勉強会を行いたいと検討をしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、地域の方、高年福祉課、地域包括支援センター職員の参加で実施している。議事録、活動報告書を作成し参加者全員に配布しホームの状況や取り組みを伝え、意見交換を行ないサービス向上に活かしています。	会議は、利用者家族・民生委員・市職員・地域包括支援センターの職員等が出席し、隔月で定期的に開催されている。行事報告や予定の報告以外にも、家族からの要望について検討し、話し合った事例もあった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険の更新申請や利用者の生活相談に高年福祉課(生保)、社会福祉協議会に相談に出かけたり、地域包括支援センターにより情報提供を受け連携を図っています。	生活保護利用者があり、その関連で市の担当部署を訪問した折に、運営に関する報告と相談もしている。また、市主催の研修会が年2~3回開催され、ホームからも参加している。	介護相談事業の看板を設置したことで問い合わせ実績があったので、市役所・地域包括支援センターを補完する地域での役割を今後とも期待したい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を、玄関事業所に掲げ内部研修も行っています。「身体拘束0の手引き」はいつでも自由に観覧可能です。玄関は防犯上夜間のみ施錠、日中は開放しています。	入居の新しい利用者が不穏になり、頻繁な外出が見られ、時間を限定して施錠をしたが、解決策としてセンサーとチャイムに変更して常時開錠にすると、利用者にも落ち着きが見られるようになった。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを内部研修に活用し、全職員が情報を共有して普段何気ない言動についても、虐待にあたる可能性がないか、ミーティングや朝礼で話し合いをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議で、利用者様後見人司法書士の方を講師として、成年後見人制度について学ぶ機会を設けました。講義内容を作成し、全職員に回覧しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に口頭にて内容の説明を行い、契約時に再度説明することで納得いただいています。玄関には重要事項説明書が掲示しており、いつでも観覧ができます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	以前は玄関に、家族の意見、苦情ノートを設置していましたが、プライバシー保護の問題もあり、現在は意見箱を設置しています。意見や要望等がある場合は、管理者や職員へ口頭で伝えられ意見箱活用には至っていない。	家族の意見を積極的に取り入れるため、意見ノートから意見箱に変更したが、現状では活用の実績がない。しかし、家族から、職員に名札を着けてほしいと要望があったが、怪我をする危険性と在宅の趣旨の説明をして納得が得られた。	ホーム便りの発刊を検討中とのことであったが、ホームからの情報提供ツールとして、新年度事業実施を期待をしたい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや、日々の申し送り等で意見や提案を聞くようにしています。管理者は、日頃からコミュニケーションを取り、問いかけたり、休暇に関しては意見を聞き沿うようにしています。	毎月のミーティングで各自、問題点や意見を提出し合い、提供サービスの向上策に反映させている。共用フロアに畳部分を設置する等の意見があり、現在導入について検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回の考査表と、日頃の勤務状態を管理者から報告を行い、施設を定期的に訪れることで現状を把握し、働きやすい職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は採用後個々の成長過程を、把握するためレポート提出や、必要に応じて個別の面談を行い、経験や力量に応じて外部研修に参加しています。研修費用は会社が全額負担してくれています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	愛知県グループホーム連絡協議会に加盟していますが、参加には至っていません。尾張ブロック会議に参加し、他の事業所との交流を深め、意見交換や情報収集に努めています。今後は相互訪問も、検討しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用について相談があった時は、見学を兼ね来所していただき、おやつの間を共に過ごすことで、本人の思いと向き合い、心身の状態や御家族様と話し合いをすることで、可能な限り受け止めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とそれまでの介護経過や困っていること不安なことに耳を傾け、今後どのような要望があるのかゆっくり聞き取り、受け止める努力をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容により、可能な限り柔軟な対応を行い、必要であれば地域包括支援センターや、他の事業所のサービス利用も含めた対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の会話や、関わりを大切にし、炊事、洗濯などの家事仕事や畑仕事など利用者が自分の役割を担っています。一緒に活動を行うことで調理方法を職員が教わる機会があります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診の付き添いや外出などは、家族の状況に合わせて対応し何かあればこまめに連絡することで情報を共有しています。行事等に参加して頂くことで、喜怒哀楽を共にし支え合う関係を築く努力をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前の馴染みの友人が定期的に尋ねてきたり、希望があれば自宅までドライブを兼ねて出かけたりしています。今までの生活環境を大切に馴染みの人との関係が途切れないように支援をしています。	今年は、インフルエンザの懸念があって外出を控えた期間もあったが、外出や泊りなど自宅に戻る機会を家族と相談してつくりながら、以前からの関係継続に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとり利用者同士の関わりを大切にその日その時の状態や、気分、感情の変化を見守り支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関等へ退去されてからも面会に行ったり、ご家族への電話などサービス利用終了後も、これまでの関係が途切れないう、相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当職員を決めることで、利用者の希望や意向の把握に努め、得られた情報をミーティングで全職員共有しています。困難な場合は本人の立場になり支援しています。	「ここは私の家」という理念が実現できるよう、基本は担当職員制を採っている。サービスの提供にあたって、留意する点を要約表やアセスメントで申し送りをして、小さな情報も共有するように心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご家族や本人から生活歴を聞き取り、関係機関からの情報収集に努めています。入居時は愛用されている生活用品を使用して頂き、馴染みの生活環境整えるよう努力しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の会話のなかで、本人の有する能力、心身の状態を把握し、カンファレンス、ミーティングで話し合い個々に合ったケアに努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意向や希望を聞き、日頃職員の気づき、意見、アイデアをカンファレンスで話し合い、必要に応じ家族も交えて医療機関とも連携して現状に即した介護計画を作成しています。	利用者ごとの担当者制で対応しているので、業務日誌や各種記録の活用で、利用者情報の把握と共有により深く理解する様、ミーティングで情報交換し、全職員が関わりあえるよう工夫している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りや、気づいたことも気づきノートに記入し、ミーティングで話し合いの場を持ち、情報を共有して介護計画を見直し実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族や利用者の希望を取り入れできうる限り柔軟に対応支援しています。又提携医以外の受診は原則として家族対応ですが、緊急やむをえない時は施設で対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の消防署の協力で、消火訓練、避難誘導訓練を実施又、ボランティアによる訪問の様子がボランティアの発行する新聞に記載され、地域の方にも認識されてきています。安全で豊かな生活が出来るよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域の開業医が主治医であり、月1回の往診と状況に応じた往診があります。電話での医療相談にも対応して貰っています。入居前の主治医を継続する利用者もいます。	緊急時の対応や電話相談が可能なホーム協力医に変更しつつあるが、今までの主治医の受診も家族の同行や職員の同行で対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職がいないため協力医と連携を取り適切な治療と、健康管理に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は医療機関へ速やかに情報提供し連携をとっています。入院中は職員が面会し安心して治療が受けられるよう努め、早期退院が出来るよう情報交換を行ない、退院後はかかりつけ医とも密に連携を取っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で、本人と家族、医療機関を交えた話し合いを行い、施設で出来ることを説明し、現状に即した方針を共有しています。利用者の状態に合った支援のあり方を関係機関と共に支援しています。	現状は、看護師の常駐が無いので、対応は困難であることを家族にも説明し納得を得ている。緊急時、医療機関へ連絡出来るネットワークは組まれている。	利用者の重篤化によるリロケーションダメージを避けるためにも、将来的には、ターミナル支援ができる体制作りについて、関係部門との検討を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回の消防署協力と、応急手当普及員の資格を取得した職員の内部研修や、普通救命講習を受けた職員もいます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害にそなえ年2回、消防署指導の元、地域住民、入居者も参加し消火訓練、避難訓練を実施、飲料水や食料品の備蓄も始めています。	年2回、マニュアルどおりに対応できるよう、消防署の協力を得て、夜間想定火災避難訓練を実施した。米・パン・水の備蓄も出来ている。また、ホーム内はすべてオール電化なので、火を使うことはない。スプリンクラーも3月末で設置予定である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの尊厳に基づいた言葉掛けを心がけ、いかなる場合であっても否定的な対応をしないように支援しています。個人情報取り扱いには外部に漏れる事がないよう、些細なメモもシュレッターにかけ破棄しています。	認知症の高齢者であっても人格を重視し、利用者への尊厳(プライド尊重)を重視した関わり方や言葉遣いにも注意し、職員も日々努めている。また、失禁の時は部屋に誘導して着替えをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	要望や希望が表せるようにコミュニケーションを大切にしています。会話が難しい利用者が見えますが、表情や顔色から思いを汲み取り支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な時間の流れは決まっているが、利用者の心身の状態に合わせて入浴、食事の時間や場所など柔軟に対応しています。意思の疎通が難しい方もみえますが、その表情から汲み取り支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族と共に馴染みの美容室に出かけたり、希望者は2ヶ月に1回訪問利用を利用しています。化粧品を購入したり、職員と一緒に買い物に出かけ、身の回りの物を購入したり着替えの時は本人の好みの服を聞き支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の状態に応じて下ごしらえや、調理を一緒に行う中で、好きな食べ物を聞き献立に活かして一人ひとりの有する能力に応じて配膳、下善、洗い物、片付けなども一緒に行い、誕生日には、希望食を取り入れています。	インターネットから配信される高齢者メニューを利用して、材料の分量を把握し、地元業者に発注している。料理が得意な利用者と共に調理をしたり、他の人も配膳に参加したりして、食事の準備に関わっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの身体状態に合わせて、刻みや柔らかさ等を工夫しています。水分は食事摂取とは別に1日1リットル摂取を目安に外食、入浴後、おやつ時等にこまめに補給に努め1ヶ月に1度体重測定を実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの能力に応じた口腔ケアを行ない希望者には、歯科衛生師による月4回の口腔ケアを実施しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄票に記録することでトイレ誘導や、声かけによる自立支援を実施しています。個々の排泄パターンを把握することで日中リハバン排除できた例がある。	排泄は記録表にチェックし、パターンを把握しトイレ誘導に繋げている。規則正しい生活の結果、紙パンツから布パンツに移行できた事例もあった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	全職員が便秘が引き起こす影響を理解し一日2回の体操と、10時のおやつにバナナヨーグルトを取り入れ、腹部マッサージや嗜好に合わせた水分摂取に努め、主食に麦と副食に繊維質多く含む食材を取るよう工夫しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴が楽しめるように、入浴剤やゆず湯など工夫しています。原則として入浴時間や曜日は決めてあるが、個々の希望や心身の状態により、柔軟に対応しています。	週2回以上の入浴を確保し、毎日10時から16時30分の間に予定しているが、利用者の気分で変更することがある。また、時には利用者の希望により、入浴剤を入れたり、足浴の場合もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間や就寝時間に決まりがなく、個々の生活習慣を大切にしています。一人ひとりの希望や様子を見て、自室やソファで休んで頂いたり、安眠が出来るようお天気の良い日は布団を干しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬剤情報を共有しています。個々の嚥下を把握し、オブラート、トロメリン、液薬等、医療機関、薬局と相談の上で支援しています。症状の変化がある場合は直ちに医療機関、薬局と連携を取っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴、個々の能力や日々の会話から趣味などを支援し、炊事、洗濯、掃除、縫い物、おしぼり作り、花の手入れ、畑仕事などで気分転換を図り支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、散歩、外出等の支援をしています。が、社用車が1台しかなく、本人が希望する時間や場所に行けない時もあります。又職員の配置により制限される時もあるが、できる限り希望に沿えるように支援しています。	最近、インフルエンザの流行もあって、散歩は控え気味になっているが、月1回程度の外出・喫茶店等への外出の機会をつくっている。また遠出の折には、車椅子でも利用できる福祉車両を利用している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1人ひとりの希望や、家族の意向も取り入れた中で金銭管理を支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば事務所の電話で対応可能です。プライバシーの問題がある時は子機で居室にて話をされています。お正月には年賀状を出したり、他の施設より頂いたプレゼントのお礼状を書いたりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先に利用者が手入れした季節の花や、共用部分に季節感あふれる飾り物を置き、家庭的な雰囲気づくりを大切に、CDやテレビの音量等不快な音に気をつけています。陽射しが弱い冬はカーテンを開けて温かい日差しを取り入れています。	共用空間には、利用者のぬり絵や行事のスナップ写真等が展示され、楽しい雰囲気演出されている。また、2階出入口のセンサー音にも不快感がなく、トイレ利用が判別できる赤いランプ設置にも配慮が感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼リビングや廊下にソファを配置することで、独りになる居場所づくりになったり、気の合う利用者同士のおしゃべりを楽しむスペースになっています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、ご家族と相談し、使い慣れた家具、仏壇、電化製品、アルバム等、馴染みの物を持ち込まれ居心地良く過ごして頂けるようにしています。電話を引かれている利用者もいます。	居室には、仏壇・冷蔵庫・写真・習字等、思い思いのものを持ち込み、利用者の個性を感じる。また、希望により、量の使用にも対応し工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室に目の高さで大きく名前を掲げています。トイレは使用中が解るように「使用中」の札や、風呂は「入浴中」の札がぶら下がりに、混乱や不安がないよう配慮し自立した生活が送れるように支援しています。		

(別紙4(2))

事業所名 アバンセグループホームこころ

目標達成計画

作成日: 平成 22年 4月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		健康管理・其の1…歩ける認知症の利用者様が増え、徘徊、転倒を心配する余り、そうではない利用者様の健康管理迄手がまわらぬ状態が多く出てきている。	すべての利用者様に一日1回は散歩又は外気浴をして頂ける時間をもちすべての利用者様の満足度をより多く得る。	天気の良い日は散歩や近くの喫茶店に出かける。 洗濯物干し、取り込みの際又ゴミだし等の折りは、必ず利用者様と共に外に出る。 外出表を作り出来るだけ全員が公平に出られるよう工夫する。	6ヶ月その後、継続する。
2		健康管理・其の2…要支援2～要介護5までバラエティに富んだ利用者様の食事のあり方、及び健康管理に苦慮している。	一般食を希望される利用者様に合わせながらも、個々の嚥下能力にあった食事を提供する為の工夫をし、利用者様の満足度をより多く得る。	夜間帯にお粥を作り三度の食事の度、利用者様に合わせもうひと工夫する。 おかずも一般食を希望される利用者様を優先して作り、その後利用者様に合わせキザミにしたり、トロミをつけたりする。又介助の必要な利用者様には食介し食事面からの健康管理を行う。	6ヶ月その後、継続する。
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	① 曾根町町内会に入会し、通学時ホーム前を通る小学校児童に声かけしたり、敬老会等地域の行事へも積極的に参画している。食材も地域の八百屋さんに発注、配達を依頼している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	① 開催回数・参加委員等規定どおり開催されている。家族には交代で出席を依頼し1家族に偏らないよう配慮している。 ② スプリンクラー取り付けの説明をしたり、出席家族からの些細な質問や疑問にも丁寧な説明と対応がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	① 生活保護利用者の介護保険等申請や相談で担当高齢福祉課に訪問する機会に、情報の交換もしている。生活保護利用者を訪ねてくる民生委員には、近況を報告している。 ② 市主催の研修会にも毎回参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	② 運営推進会議の場と、家族の来訪時を活かして、情報の交換と意見収集に努め、家族意見が反映するようにしている。 ③ 現在ホーム便りは検討中であるが、イベントのお知らせ等には、参加の声かけを意図した担当者が一筆書くことを追加している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>軽減要件に求められる項目は、上記の通り完全実施が為されていた。特にホームとして家族との関係作りには、運営推進会議参加への配慮や要望の把握には神経を使っていることが窺えた。</p>
--

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。